⚠《特定外来生物》

アライグマに注意!!

北米を原産とする『アライグマ』。
日本にはペットなどとして輸入されましたが、
捨てられたり逃げ出した個体が野生化しました。
このアライグマは、特定外来生物に指定されており、
近年、北海道内においても生息域を拡大させています。
これまで発見事例が少なかった道東のオホーツクや
釧路管内においても発見情報及び捕獲も確認されています。

『発見情報』や『この被害アライグマかも!?』と思った方は、下記までご連絡ください。

お住まいの市町村担当窓口

見た目に反し、どう猛で近づくと
噛みついたりすることがありますので
目撃した際は絶対に近寄らないようご注意ください。
拡大防止のため、早期発見にご協力ください。

『アライグマ』ってどんな生き物?

森林の水辺等に生息し、農耕地や市街地にエサを求めて出没します。特にため池の流入部・樹林内の湿地・渓流などで確認されています。行動は、基本的に夜行性。雑食性で魚・カエルなどの水生動物から昆虫や野菜・果実などなんでも食べます。

手先がとても器用です

手足の指が長いため上手に物を掴んだりできます。

後足で自立できます

タヌキや他の動物とは違い後ろ足で立ち上がることができます。

木登りが得意です

木登りが得意なため農作物等の柵での防除は困難です

驚きの繁殖力

寿命は屋外の生活で約5年。4~6月に3~6頭の子供を産みます。

『アライグマ』と『エゾタヌキ』、似ているけれど どう違う? 見分け方のポイント

アライグマ

◎体色は全体的に灰色
◎尻尾のシマ模様が最大の特徴

◎眉間に黒いライン
◎耳のフチが白い
◎立派な白いヒゲ

[大きさの目安]頭胴長:41~60cm　尾　長:20~41cm　体　重: 4~10kg

エゾタヌキ

◎体色は茶色で脚は黒
◎尻尾にシマ模様はありません

◎耳は丸くフチが黒
◎ヒゲは黒くて目立たない

[大きさの目安]頭胴長:50~60cm　尾　長:13~19cm　体　重: 4~8kg

指が長いのがアライグマ!

他の動物との足跡を比較

アライグマ

エゾタヌキ

キタキツネ

イ　ヌ

ネ　コ

環境省 釧路自然環境事務所

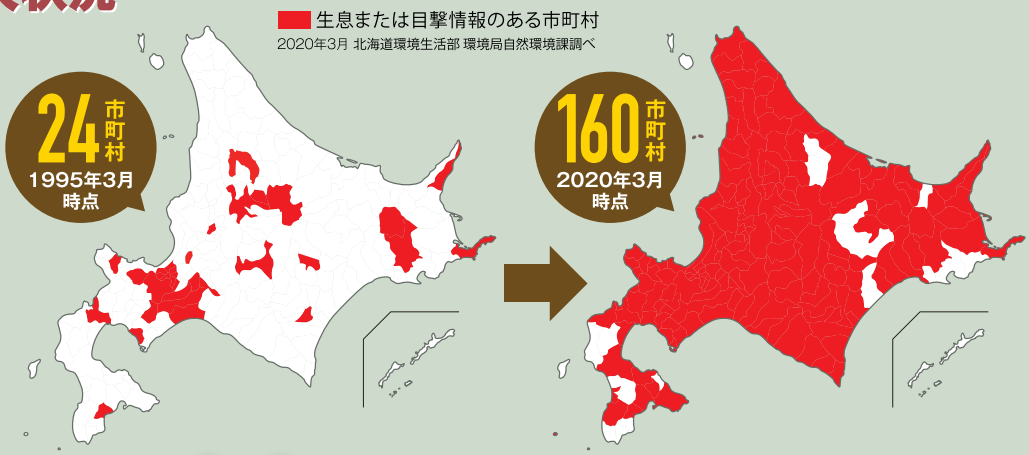
道東で 増えている!?

北海道内の拡大状況

道内におけるアライグマの野生化は、1979年に恵庭市で飼育されていた10頭程度が逃亡し、酪農地帯に定着したのが始まりと言われています。

その後道央を中心に全道に拡大。1995年には道内24市町村で確認されましたが、2020年には160市町村と、爆発的な拡大状況となっています。

アライグマ生息市町村の推移



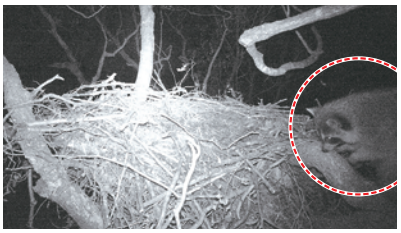
▲箱ワナで捕獲されたアライグマ★1

釧路管内で初の捕獲

2020年8月、厚岸町の民家の家庭菜園で、トウモロコシが食い荒らされる被害が発生しました。皮をきれいにむいて食べられていたことと周囲に足跡が残っていたことからアライグマの仕業と推測。町が箱ワナ2基を設置したところ、翌日体長50cmほどのアライグマの成獣1頭が捕獲されました。

増えるとどうなるの!? 今後の影響と予想

生態系への影響


▲樹上のオジロワシの巣に侵入したアライグマ★2

◎シマフクロウなどの鳥類やニホンザリガニ・エゾサンショウウオなどの希少種の捕食。
◎エゾタヌキやキタキツネなど、在来種の生息場所を奪う。

農作物・畜産被害

▲アライグマが実だけを食べた跡★3

◎トウモロコシをはじめとした野菜・果実等の農作物やデントコーン・サイレージなど畜産飼料の食害。
◎ビニールハウス等施設内に侵入の際の破損など。

生活環境被害

▲牛舎に集まったアライグマ★4

◎民家の天井や畜舎に住み着いてゴミ捨て場を荒らしたり、糞尿被害・生活設備の損壊など。
◎ペットに感染するアライグマ回虫や狂犬病等の媒介も懸念されます。

正しい知識で防除して、地域の安全と自然環境を守りましょう!

写真提供／★1：厚岸町役場環境林務課　★2：嘉藤 慎譲氏（株式会社地域環境計画）　★3：阿部 豪氏（株式会社野生鳥獣対策連携センター）　★4：神 武海氏（サージミヤワキ株式会社）

アライグマは『特定外来生物による生態系等に係る被害防止に関する法律』にて、特定外来生物に指定されています。詳しくはホームページをご覧ください。

https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/10150.html